

基調講演 1

アルツハイマー型認知症の BPSD へのレキサルティの有用性 新しい認知症観「その人らしく地域で過ごす共生社会」に向けて

福井県立病院こころの医療センター

村田 泰斗 先生

超高齢社会の日本において、特にアルツハイマー型認知症に伴う行動・心理症状 (BPSD) は、患者・家族双方に大きな負担をもたらす。従来の薬物療法には適応外処方の課題があったが、今回レキサルティが本邦で初めてアルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する過活動又は攻撃的言動に対して、適応を取得した。本講演では、県立病院での症例を通じて、レキサルティの有効性と臨床的意義について報告する。